

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

| | |
|-----------|--|
| 研究課題名 | 免疫チェックポイント阻害薬の治療効果に骨格筋の量と質が与える影響の調査 |
| 研究責任者 | 薬剤科 西村 文宏 |
| 本研究の目的・意義 | 【目的】 近年、サルコペニアと様々な疾患との関係性が報告されており、コンピュータ断層撮影 (computed Tomography: CT) 画像から算出される大腰筋指数 (psoas muscle index: PMI) がサルコペニアの指標として用いられている。サルコペニアは種々の癌の短期および長期の生命予後を悪化させる因子となることが知られている。近年、骨格筋の量だけでなく質の重要性についても報告されており、骨格筋の質の指標として筋内脂肪組織量 (intramuscular adipose tissue content: IMAC) が用いられている。免疫チェックポイント阻害薬であるペムブロリズマブは、進行再発尿路上皮癌患者に使用されているが、治療効果と副作用発現と骨格筋の量ならびに質との関係性については詳細には明らかになっていない。そこで、本研究では、ペムブロリズマブが投与された進行再発尿路上皮癌患者の骨格筋の量ならびに質が生命予後と副作用発現に与える影響を検討する。 |
| 研究予定期間 | 委員会承認後～2025年3月31日 |
| 該当資料・データ | 対象となる患者さま: 2017年1月～2024年12月に進行再発尿路上皮癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を使用した患者さまのうち、免疫チェックポイント阻害薬投与前にCTを撮像された患者さま 利用する情報: 電子カルテに記載のある診療記録・検査データを利用します。 |
| 個人情報の取扱い | 診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人情報を識別可能な症状を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、研究機関毎に連結可能匿名化を行います。個人識別情報と付加番号の対応表は研究機関毎に作成し、各機関の個人情報管理者が厳重に管理し、共同研究機関並びに解析担当者には渡しません。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。 |
| 共同研究機関 | なし |
| 本研究の資金源 | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| お問い合わせ先 | 電話: 096-370-3111 (代表) 担当者: 西村 文宏 (薬剤科) |